

# 今後の取組や方向性について

資料:3-3

## 【グループインタビュー・アンケート調査から】

⇒修学資金、奨学金制度の効果は高い。  
→県内でも実施している医療機関等は多数ある。  
⇒最終学年の夏休みまでには、内定をもらっており、1～3月には就職活動を始めている。

⇒県外の方が教育体制が充実、高度な技術を学べる。認定看護師の資格を取りたい。  
→キャリア支援について、青森県内においても教育体制は整っている。認定看護師の資格は取得できる。

⇒学生時代の実習経験が、就職先に影響。  
⇒地元出身なども影響。

⇒Uターンの条件に関しては、子育て支援や福利厚生などの充実。

## 【今後の取組や方向性】

★医療機関からの看護学生への早めのPRが必要。  
→奨学金案内や募集案内などの調整。

★医療機関からの看護学生へのキャリア支援、教育体制などの積極的なPRが必要。  
→就職相談会や病院案内等のPR機会の活用。  
インターンシップや病院見学会などの実施。

★医療機関での接遇面や看護学生に対する指導・教育体制などの協力、努力が必要。地元出身が地元に残る取組が必要。  
→印象アップへの取組や先輩看護師の協力、実習指導者講習会などの活用。

★ワークライフバランスや子育て支援などの働きやすい環境づくりへの積極的な協力。